

# 公共事業再評価調書

整理番号 H17 - 8

担当部課名	農林水産部 農村整備課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 5 4 5
		E - MAIL	noson @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工 長期継続 ( 年 ) 再評価後 ( 年 ) その他 ( 平成16年度付帯意見 )
---------	--

## 1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県 市町村 その他 ( )				
事業名	県営鉾毒対策事業	地区名等	荒川 市町村名 青森市				
事業方法	国庫補助 県単独 財源・負担区分	国 50 % 県 40 % 市町村 10 % その他 %					
採択年度	昭和 59 年度 ( 用地着手 昭和 61 年度 / 工事着手 昭和 61 年度 )						
終了予定年度	平成 17 年度 ( 平成 17 年 予定 工期変更 再評価時 平成 19 年度 )						
事業目的	堤川水系の荒川は、八甲田山にその源を發し、青森平野を貫流しながら青森湾に注いでいるが、上流部の地獄沼、新湯等から湧出する強酸性 (pH1.1~2.2) 水の荒川流入によって強度の酸性河川となっており、荒川を水源としている荒川地区の水田は大きな被害を受けている。このことから、強酸性水を処理することによって、農業用水の水質を改善し、農業生産性の向上と、農業経営の安定に資することを目的とする。						
主要内容	区 分	再評価時	再々評価時	増 減			
	導水路工	43,376 m	22,776 m	20,600 m			
	注入孔	37 孔	37 孔	0 孔			
	中和処理施設	2 棟	1 棟	1 棟			
事業計画の変更により、中和処理施設 1 棟の減とこれに係る導水路 ( 1 系統 ) 20,600mの減、併せて事業費 3,662百万円の減額となる。							
事業費	再評価時総事業費 13,976 百万円 ( 単位 : 百万円 )						
		~ 14年度	15年度	16年度	17年度	小 計	18年度~
計 画	10,125	162	17	10	10,314	0	10,314
(うち用地費)	( 65 )	( 1 )	( 1 )	( 0 )	( 67 )	( 0 )	( 67 )
年 月変更							
実 績	10,125	162	17	10	10,314	0	10,314
(うち用地費)	( 65 )	( 1 )	( 1 )	( 0 )	( 67 )	( 0 )	( 67 )

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)	計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
		100 % [ / ] ( 100 % ) [ / ]	100 % [ / ] ( 100 % ) [ / ]
主要工種 毎割合 (事業費)	導水路工 (1,707百万円)	(延長割合) 100 %	(延長割合) 100 %
	注入孔工 (2,206百万円)	(本数割合) 100 %	(本数割合) 100 %
	中和処理施設 (4,359百万円)	(施設棟割合) 100 %	(施設棟割合) 100 %
説 明	<p>1. 長期効果検証試験の結果から、</p> <p>1) 完成した 1 基目の中和処理施設の中和能力は計画どおり確保された。</p> <p>2) これにより、2 基目の中和処理施設の建設によって、水質改善目標を達成することが判明した。この試験結果については、学識経験者による「強酸性水処理検討委員会」(H16.12.9開催)において、「事業計画は妥当である」と判断された。</p> <p>2. 一方県では、長期効果検証試験と並行して進めた、ホタテ貝殻等を活用した中和試験では、その中和能力の有効性が確認された。このことから、完成している 1 基目の中和処理施設を稼働させ、酸性水の酸性度合いを低減させることにより、ホタテ貝殻による効果的な水質改善が可能となることとなった。</p> <p>3. このため、2 基目の中和処理施設に代えて、取水後の用水路内にホタテ貝殻等を活用する簡易で安価な工法に見直しし、大幅なコスト縮減を図ることとして、平成17年度に計画変更し、事業完了をすることとした。</p> <p>4. この方針については、地元(事業促進協議会)及び青森市に説明し理解を得ており、国の了解も得ている。</p> <p>5. 事業の進捗については、各年度市と協議・調整の上進めており、計画どおりである。</p>		
問題点・解決見込み	完成した中和処理施設を活用し、ホタテ貝殻水路の改善能力と水田土壌の浄化能力を組合せ別途補助事業を活用し、農業用水の改善と併せて地域用水の環境整備等多面的に取り組んで行くこととする。		
事業効果発現状況	長期効果検証試験結果では、完成した 1 基目の中和処理施設は計画どおりの処理効果が得られている。		

## (2) 社会経済情勢の変化

(A) · B · C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>[全国の評価]</p> <p>平成17年3月に閣議決定された「新たな食料・農業・農村基本計画」では、担い手の育成・確保の契機となる農業生産基盤の整備や、農業水利施設等の適切な更新・保全管理を効率的・効果的に推進するとされたことから、本事業による農業用水の水質改善を通じ、農地及び農業用施設の機能低下回復等を行なうことによって、農業生産の向上及び農業経営の安定を図るとともに、国土及び環境の保全といった多面的機能の持続的発揮にも寄与するものである。</p>	<p>[県内の評価]</p> <p>平成16年に県が策定した「生活創造推進プラン」に掲げられた、「安全・安心で快適な社会」を実現するため、青森市荒川地区の稲作地帯に流れ込む水の水質改善を行うことは「食と水の安全・安心の確保」に向け、貢献するものである。</p>
	当地区における評価	<p>本地区は、八甲田山麓の地獄沼など5泉源から湧出する強酸性水が流入する荒川の水を農業用水として使用せざるを得ない地区である。 このため、地域住民から、本事業により強酸性の農業用水の水質を改善し、農業被害を防止することに、大きな期待が寄せられている。</p>	
必要性	<p>本地域では荒川から取水した酸性水の水をかんがい用水として利用しているため、農作物の生育に大きな障害が発生している。 このため、地元農協及び青森市の要望を受けて、農業被害防止を目的に強酸性水を処理し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図るため必要な事業である。</p>		(a) · b
適時性	<p>現計画による事業の推進は、建設コスト及び維持管理コストが大きいことから、今回建設された中和処理施設と2基目の中和処理施設に代えて地域資源であるホタテ貝殻の活用による取組を実施し、事業目的である農業用水の水質改善に努める。</p>		(a) · b
地元の推進体制等	<p>本地区では受益者から、平成13年度の計画変更時に92.1% (1,014人/1,101人) の同意を得ている。 また、本事業を推進するため、農協、土地改良区、水利組合、連合農事振興会、財産区等で構成する「荒川地区鉱毒対策事業促進協議会」も設置されており、事業の推進体制は整っている。 事業費のうち、国、県の補助残分については、全額青森市が負担している。</p>		(a) · b
効率性	<p>農業用水の水質改善及び水環境の整備により、地域農業の生産性向上と転作作物の作付け増加に資するとともに、地域住民の連帯意識の醸成に資する。</p>		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A) · B · C

区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 導水路工	2,419 百万円	1,774 百万円	645 百万円
	(2) 注入孔工	2,382 百万円	2,378 百万円	4 百万円
	(3) 中和処理施設	7,151 百万円	4,318 百万円	2,833 百万円
	(4) 関連事業費	百万円	349 百万円	349 百万円
	(5) その他	3,121 百万円	2,742 百万円	379 百万円
	総費用	15,073 百万円	11,561 百万円	3,512 百万円
便益項目 (B)	(1) 農業生産向上効果	4,881 百万円	2,713 百万円	2,168 百万円
	(2) 農業経営向上効果	705 百万円	2,704 百万円	3,409 百万円
	(3) 景観保全効果	11,308 百万円	7,959 百万円	3,349 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	15,484 百万円	13,376 百万円	2,108 百万円
B / C		1.03	1.16	
<p>[費用対効果分析手法] (分析手法、根拠マニュアル等)</p> <p>農林水産省構造改善局長通達 (農地防災事業実施要綱・要領及び土地改良事業における経済効果の測定方法) による。</p> <p>[費用対効果分析における特記事項]</p> <p>事業費及び施設の維持管理費の減により、B / C が上昇している。</p>				

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <p>維持管理費のコスト縮減：発生活泥については、当初、産業廃棄物処理としていたが、セメント原料等へのリサイクルが可能となったことにより、維持管理費が当初と比べ削減された。</p> <p>建設費のコスト縮減：2基目の中和処理施設に代えて、ホタテ貝殻を活用した安価な水質改善手法に変更することから、建設費用の縮減が図られた。</p>	(a)・b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <p>ホタテ貝殻を用いた中和試験結果から、農業用水路内での簡易で安価な中和処理工法を、2基目の中和処理施設の代替として検討し、採用することとしている。</p>	(a)・b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <p>事業計画の策定に当たっては、受益者から同意徴収を行っている。</p> <p>また、事業の実施に当たっては、逐次、青森市と協議しているとともに、促進協議会を通じて地元関係者のニーズの把握に努めている。</p>	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <p>事業の実施に当たっては、事業促進協議会に説明し、理解を得ながら行っている。</p>	(a)・b		
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <table border="1"> <tr> <td>地域区分</td> <td>A1a</td> </tr> </table> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <p>地獄沼右岸承水路施工に当たっては、国立公園第2種特別地域内であるため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に配慮し地下埋設としている。</li> <li>・水管橋の露出部は、疑木仕上げとし色もこげ茶としている。</li> <li>・在来植物を工事施工後移植し現状復旧した。</li> </ul> <p>導水管については地下埋設とし、配電盤等を保護する局舎、施設の防護柵は、景観に配慮し木材及び間伐材を使用している。</p>	地域区分	A1a	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <p>地獄沼右岸承水路施工に当たっては、国立公園第2種特別地域内であるため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在来植物を工事施工後移植し現状復旧した。</li> <li>・重機を使用せず人力による施工し、地形の改変を最小限に止めた。</li> </ul> <p>施設の防護柵は、景観に配慮し木材及び間伐材を使用している。</p>	(a)・b
地域区分	A1a				
地域の立地特性	振興山村地域				

## 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	2基目の中和処理施設に代わるものとして、取水後の農業用水路内で、地域資源であるホタテ貝殻を利用した安価な中和処理手法への取組を、完成している1基目の中和処理施設と組み合わせることにより、地域の強酸性の農業用水の改善を図る方法とする事業内容に計画変更する。			
備考	<p>計画変更の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要工事計画</li> <li>・事業費</li> </ul>	<p>導水路工 L=43,376m</p> <p>中和処理施設 N= 2棟</p> <p>13,976百万円</p>	<p>L=22,776m</p> <p>N= 1棟</p> <p>10,314百万円</p>	

## 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	意見書のとおり			
評価理由				